

4 (R2) 現行教科書 SUNSHINE から (R3) 新教科書 NEW HORIZON へ移行する場合

【令和2年度の中学1年生 移行措置を行う時期と教材の例】

※移行措置を行った言語材料は、取扱い欄に☑しましょう。☑が付かなかったものは、令和3年度に確実にを行うよう、引継ぎをしましょう。

	移行措置が必要な 主な言語材料	令和2年度		令和3年度		取扱い ☑
		移行措置を行う時期	教材	移行措置を行う時期	教材	
1	・感嘆文 (How …! / What …!)	・教科書本文を用いて、やり取りの基礎となる活動を行うとき ・帯活動において、やり取りの基礎となる活動を行うとき	B:現行教科書 SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 例) 本文の内容に感嘆文を付け足して音読する A:Bridge ① What a Wonderful Memory! ② A Birthday Present ④ What a Great Movie!	・感嘆文を取り扱うとき	A:Bridge ① What a Wonderful Memory! ② A Birthday Present ④ What a Great Movie!	
2	・like …ing ・be good at …ing	・自己紹介や他者紹介を行うとき	E:自作の学習プリント 例) 好きなことや得意なことをペアで紹介し合う	・動名詞を学習するとき	C:新教科書 NEW HORIZON English Course 2 Unit4 Homestay in the United States	
3	・want [try, need など] to ・What do you want to …?	・自己紹介【発表とやり取り】を行うとき	B:現行教科書 SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 My Project I (pp.44-45)	・不定詞を学習するとき	C:新教科書 NEW HORIZON English Course 2 Unit3 My Future Job	
4	・look+形容詞	・PROGRAM6 において, "He's very smart, right?" (p.65) [SVC (C=形容詞)] の学習を終えた後	B:現行教科書 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 PROGRAM7(p.64) E:自作の学習プリント 例) 友達の持ち物を見て感想を述べ合う	・適宜	E:自作の学習プリント 例) 友達の持ち物を見て感想を述べ合う	
5	・be 動詞の過去形	・PROGRAM10 及び 11 において, 一般動詞の過去形の学習を終えた後	B:現行教科書 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 PROGRAM1 (p.10)	・be 動詞の過去形を復習するとき	C:新教科書 NEW HORIZON English Course 2 Unit0 My Spring Vacation	
6	・過去進行形	・be 動詞の過去形の移行措置を終えた後	B:現行教科書 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 PROGRAM1 (p.12)	・過去進行形を復習するとき	C:新教科書 NEW HORIZON English Course 2 Unit0 My Spring Vacation	
7	・There is [are] ….	・PROGRAM5 において, 場所を表す前置詞(p.52)の学習を終えた後 ・全単元の学習を終えた後	B:現行教科書 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 PROGRAM5(p.44) E:自作の学習プリント 例1) 家の近くにあるものを紹介する 例2) 今と昔の町並みを比較し, 説明する	・"There is [are] …."を復習するとき	C:新教科書 NEW HORIZON English Course 2 Unit0 My Spring Vacation	
8	★場面:レストラン ・What would you like? — I'd like …. ・Would you like …? — Yes, please. [No, thank you.]	・全単元の学習を終えた後	E:自作の学習プリント 例) レストランや食事会で, 客と店員になり, 申し出たり断ったりする	・適宜	E:自作の学習プリント 例) レストランや食事会で, 客と店員になり, 申し出たり断ったりする	

4 (R2) 現行教科書 SUNSHINE から (R3) 新教科書 NEW HORIZON へ移行する場合

【令和2年度の中学2年生 移行措置を行う時期と教材の例】

※移行措置を行った言語材料は、取扱い欄に☑しましょう。☑が付かなかったものは、令和3年度に確実にを行うよう、引継ぎをしましょう。

	移行措置が必要な 主な言語材料	令和2年度		令和3年度		取扱い ☑
		移行措置を行う時期	教材	移行措置を行う時期	教材	
1	・感嘆文 (How …! / What …!)	・教科書本文を用いて、やり取りの基礎となる活動を行うとき ・帯活動において、やり取りの基礎となる活動を行うとき ・My Project6(p.107)において、“How boring!”を取り扱うとき	B:現行教科書 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 例) 本文の内容に感嘆文を付け足して音読する A:Bridge 1 What a Wonderful Memory! 2 A Birthday Present 4 What a Great Movie!	・感嘆文を取り扱うとき	A:Bridge 1 What a Wonderful Memory! 2 A Birthday Present 4 What a Great Movie!	
2	・It is … + to	・PROGRAM6 において、不定詞(名詞的用法)(p.52)の学習を終えた後	B:現行教科書 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 PROGRAM3(p.24) E:自作の学習プリント 例) 簡単なことや難しいことなどをペアで伝え合う	・”It is … (for+人など)+ to”を学習するとき	C:新教科書 NEW HORIZON English Course 3 Unit3 Animals on the Red List	
3	・疑問詞+ to ・主語+動詞+(人)+疑問詞+ to	・PROGRAM7の学習を終えた後 ・全単元の学習を終えた後	B:現行教科書 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 PROGRAM3(p.26) E:自作の学習プリント 例) “how+ to”を用いて、ペアで質問し合う	・適宜	E:自作の学習プリント 例) “how+ to”を用いて、ペアで質問し合う	
4	★場面:電車の乗り換え ・Could you tell me how to get to …?	・POWER-UP6 道案内①(pp.68-69)を学習するとき	B:現行教科書 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 POWER-UP6 道案内①	・適宜	E:自作の学習プリント 例) 駅や街角で、目的地までの行き方を尋ねたり教えたりする	